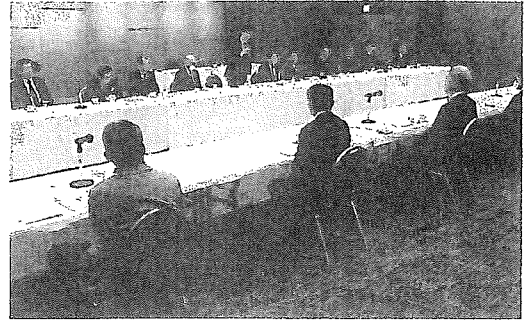


日測協 測量に関する懇談会

働き方改革など話題に

開発局、国土地理院等と

日本測量協会北海道支部（橋本幸支部長）は17日、札幌東急REIホテルで開発局、国土地理院北海道地方測量部、道建設部、札幌市との「測量に関する懇談会」を開催した。写真。働き方改革やi-Constructionの推進など、測量事業を取り巻く最近の話題を取り上げ、課題



解決に向け率直に意見を交わした。懇談会は1993年から毎年行っているもの。開発局から貴家尚哉事業振興部調整官ら6人、国土地理院北海道地方測量部から志田忠広部長ら2人、道建設部から塩田雅史技監ら2人、札幌市建設局から辻孝士木部管理測量課長が出席。同

支部からは橋本支部長ら15人が参加した。はじめにあいさつした橋本支部長は、国の補正予算等に触れ「積極財政によるインフラ整備を支援するのが測量業界」と、その重要性を強調。「本懇談会は開発局等各機関の方に出席いただき、毎年開催している極めて貴重な機会」と述べ、率直な質問やアドバイス、助言などを期待した。引き続き懇談に移り、各発注機関が話題を提供した。

開発局は「北海道開発局における働き方改革およびi-Constructionの取組について」、国土地理院は「北海道内における公共測量の動向、国土地理院における最近の取組、道建設部は「道建設部における測量業務の発注

動向等について」、札幌市は「札幌市測量業務の動向について」と題しそれぞれ説明。

意見交換では、これらの話題を中心に測量事業を取り巻く課題について懇談し、共通認識を深めた。

懇談会終了後は公共測量講習会を開催した。